第4号　発行日　令和2年7月8日
青森県立弘前南高等学校サイエンス

弘前南 SSH 通信　CELESTE

◇International Science Exchange

6 月10日（水）　対象：3年次生 SSH クラス生　場所：地学・物理実験室
6月17日（水）　対象：2～3年次 SSH クラス生　場所：第 1 体育館

3年次 SSH クラス生が英語による課題研究発表会を行いました。例年は弘前大学から留学生や中学高校の先生方、保護者を招いて発表していましたが、コロナウィルス感染防止の観点から規模を縮小して行いました。短い期間での準備はとても大変でしたが、原稿を暗記して聞いている人に目線を向けて発表していました。教頭先生から「発表では、相手に理解してもらおうとする姿勢が大事だ」とアドバイスをいただきました。次の週には、前回の反省を受けて聞いてもらう人に理解してもらおうと小道具を準備したり、スライドを大幅に変更するなど短い期間で修正して、発表に臨んでいました。指導主事の伴先生から「過去3回の中で1番良かった」と講評をいただきました。

【生徒感想抜粋】

・原稿を丸暗記して発表していると意味を理解できずに、質問に上手く答えられていない人がいた。意味を理解して発表することが大事だと思った。
・ただ1人で黙々と練習するのではなく、英語の先生に発音を教えてもらったり、他の人を頼ることも大事だと学んだ。周囲と積極的にコミュニケーションをとって困難に立ち向かいたい。
・SSH 活動を通して、人前で発表することに慣れたから、大学でもっと自分の意見を言えるようにしたい。成功するためには準備をしっかりすることが大切だと学んだ。
・英語力だけでなく、人に伝えるためのスライド作りの工夫、身振り手振りを使うなど、学んだことを大学、将来の職場で生かしていきたい。
・先輩方の発表を聞いて、研究には長い時間がかかるので、のんびり研究をしては間に合わないと思った。
・準備がしっかりしていて発表がスムーズだった。また発表するときには、パワーポイントが大切だと思った。文字を大きく最小限に、画像も見やすいようにすることが大事だ。
・ほとんど原稿を見ずに、パワーポイントを示しながら発表していて、何度も練習をしたことが分かった。質疑応答にも簡潔に答えていて凄い。

◇プレゼンテーション講座（南陵ラボⅡ）

6月24日（水）　対象：2年次 SSH クラス生　　場所：26HR 教室

5～6校時に、ひろさき環境パートナーシップ 21 代表　鶴見　実氏が研究発表においてよりよいプレゼンテーションを行うための技術について講演しました。発表の時間配分や発表スライドの作成の仕方などについて、詳しく教えていただきました。今年度初めて講師が来校して講演していただきましたが、前半はレジュメを使っての講義、後半は Powerpoint を見せながらとメリハリのある講演をしていただきました。発表時間とスライドの数や、スライドの作り方について分かりやすく説明し、先輩の課題研究のスライドを参考に、改良するための視点について、具体的にわかりやすく解説していただいきました。

【生徒感想抜粋】

・先輩が残した今後の課題から探すという言葉がしっくりきた。先輩が残してくれたものをリセットして、自分の代からという考え方は捨てた方がいい。

・どのように発表者に質問したら良いか、探究活動を通して覚えておいた方が良いことを学んだ。

・伝えたいことを先に明確にすることが必要だと思った。日本語が要点を最後に伝える言語であるから、スライドを作る際には「伝える」ことを1番に意識して作るようにしたい。

・3年生の発表は完璧だと思っていたが、講演を聴いてまだまだ改善する部分があることに気づいた。

・講演を聴いて、すぐにでも参考にできるものがとても多かった。

・現在の自分の発表の仕方では、良い発表ができないことをまず考えさせられた。

・今回の講演で、プレゼンテーションを作るポイントや注意点、コツをしっかりと学んだ。

・聞く人の事を考えながらパワーポイントを作成し、プレゼンテーションをしないといけないと思った。パワーポイントだけでなく、発表にも気を配らないといけない。

INFORMATION

新型コロナウィルス感染拡大防止の観点からサイエンス指導部が関わるいろいろな行事が中止・延期になっています。

- 生物オリンピック・白神エクスカーション　⇒　中止
- 化学グランプリ　　⇒　延期
- 海洋生物学実習　⇒　8月2日（日）学校で実施、近日募集開始